

船舶事故等調査報告書

平成25年4月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012函第49号
事故等種類	衝突（消波ブロック）
発生日時	平成24年6月17日 17時02分ごろ
発生場所	北海道釧路市釧路港東区南外防波堤先端付近 釧路市所在の釧路埼灯台から真方位296.5°2,170m付近 （概位 北緯42°58.7′ 東経144°21.0′）
事故等調査の経過	平成24年9月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 <sup>おおつき</sup> 大月丸、9.98トン
船舶番号、船舶所有者等	HK2-18143（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	右舷船底に破口等
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、釧路港東区の港奥に位置する釧路市大川町物揚場岸壁を出航し、船長が、操舵室内に立って手動操舵により操船に当たり、対地速力約3ノットで港口へ向けて西進した。 船長は、折からのスコールのような雨の影響から、前方の視界が不良となったので、1.5海里レンジとしていたレーダー画面を見た際、同画面が白色となっていることに気付き、レーダーの感度調整を行っていたところ、平成24年6月17日17時02分ごろ本船が釧路港東区南外防波堤（以下「本件防波堤」という。）先端付近の消波ブロックに衝突した。 本船は、自力で消波ブロックから離れ、出航場所へ戻った。
気象・海象	気象：天気 雨及び霧、風向 北東、風力 5、視界 不良 海象：波高 約1m 釧路市に強風注意報が発表されており、本事故前の16時50分に解除されていた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、釧路港東区内を西進中、船長が、レーダーの感度調整に意識を集中し、見張りを行っていなかったことから、本件防波堤に向けて航行することとなり、本件防波堤先端付近の消波ブロックに衝突したものと考えられる。

<b>原因</b>	本事故は、本船が、釧路港東区内を西進中、船長が、レーダーの感度調整に意識を集中し、見張りを行っていなかったため、本件防波堤に向けて航行することとなり、本件防波堤先端付近の消波ブロックに衝突したことにより発生したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・港内でレーダーの感度調整を行う際は、行きあしを止めるなどして慎重に行うこと。